

本会議から付託された議案2件の審査を行うため、6月12日に産業水道委員会を開催しました。

議案第51号 字の区域の廃止について

～内容～

仮称岡山郵便処理施設新築工事に係る施設用地及び開発道路等の工事に伴い、工事後の区画等に合わせて合筆するために字の区域を廃止しようとするもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定した。

～質疑～

問：新しい番地等が決まる時期はいつか。また、現在の登記簿上の地目や課税の状況、区域内の公共道路及び水路の取扱い、また、境界が農地の途中に入っているが、現地で押さえられているのか。

答：現地の造成工事が10月ごろには完了する予定で、現在、建築確認の手続きを進めていると聞いている。これに合わせて合筆するものと認識している。現在の地目は田であり個人に課税されているが、所有権移転登記後は所有者に課税する。また、区域内の公共道路及び水路については協議中であり、払下げではなく、市道及び市の水路として管理する。字界は現地で確認できる。

議案第53号 平成27年度総社市一般会計補正予算（第2号） について

～内容～

本件のうち本委員会の所管に属する部分は、日羽地内、柳谷地区において既存の給水施設の水质が悪化したことに伴い、小規模区域給水施設設置事業補助金300万円を増額するもの、並びに、高間やまびこまつり及び温羅まつり実行委員会への補助金、各40万円を地域づくり自由枠交付金で措置したため減額しようとするもの。

～結果～

次のような審査のあと、採決の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定した。

～質疑～

問：小規模区域給水施設の給水人口、取水場所と水処理の方法はどうか。

答：小規模区域給水施設設置事業補助金交付要綱に、補助対象は給水人口 20 人以上又は給水戸数 5 戸以上と定められており、柳谷地区は 5 戸 8 名の利用が見込まれている。取水位置は既存の場所より離れた山側であり、そこに井戸を掘り滅菌装置を設置して水質基準を満たした水を給水する計画である。

問：地域づくり自由枠交付金に移された『高間やまびこまつり』及び『温羅まつり』の補助金だが、もともと観光費として予算計上されていた。観光であれば交流人口を増やす目的があるが、地域づくりの交付金で措置するとなると趣旨が変わってくると思う。地元にとどのように説明しているのか。

答：『高間やまびこまつり』及び『温羅まつり』は、これまでも地元の皆さんの熱心な取組により開催されていたものであり観光振興にも寄与していたので、今後とも市と地元がいっそう連携して地域の観光振興にも役立つものになればと考えている。